

【人生儀礼】

昔から私たちの先祖は、人生の節目に
子供の成長や家族が健康であることを祈願して、
お祝いをしてきました。

◆初宮参り

赤ちゃんが初めて神社にお参りする初宮参りは、氏神さまに無事に誕生したことの奉告とお礼をし、氏子として健やかに成長することを祈るものです。一般に、男の子は生後三十一日目、女の子は三十三日目にお参りしますが、地域によって異なることもあります。子供の体調や天候などにも気を使い、最良の日を選んでお参りしましょう。

◆七五三

三歳の男女児、五歳の男児、七歳の女児が晴れ着をきて、神社にお参りをします。子供の成長を神さまに感謝し、これからのさらなる健康を祈ります。七五三には欠かせない千歳飴は、子供の未永く健やかな成長を願って細く長く、紅白の色で作られ、袋には鶴亀・松竹梅などの縁起物が描かれています。

◆厄年

悪いことが身に振りかかりやすい年・人生の節目の年を厄年といわれます。数え年で男性は二十五歳・四十二歳・六十一歳、女性は十九歳・三十三歳・三十七歳が本厄、その前後を前厄(厄入)、後厄といい、神社にお参りをして、災厄を祓い招福を祈願します。長崎県内では、男性は四十一歳、女性は三十三歳で厄入りのお祓いを受けて、その翌年に無事に過ぎたお礼参りとして厄祓いを行います。尚、地域によって多少風習が違います。

◆長寿の祝い

両親や祖父母をはじめ、一家のものが長寿であることほどおめでたいことはありません。年祝い(長寿の祝い)には六十一歳の還暦をはじめ、古希(七十歳)、喜寿(七十七歳)、傘寿(八十歳)、米寿(八十八歳)、卒寿(九十歳)、白寿(九十九歳)、上寿(百歳)等があります。お祝いの当日は、氏神さまに参拝し平素の御加護に感謝し、ますます壮健であるよう祈願し、家族一同揃って長寿をお祝いしましょう。

※厄年・年祝はともに数え年です。

佐賀RC創立60周年記念式典

2013年2月23日(土) ホテルニューオータニ佐賀



3月 例会予定

- 3月13日 公益財団法人 佐世保地域文化事業団
(アルカスSASEBO)
理事長 深堀 寛司 様
- 3月20日 祝日休会
- 3月27日 新会員卓話 小幡 修さん
(親和銀行頭取)

(今週の担当 坂本 敏)
 (カメラ担当 土井 弘志)



クラブ会報委員会

委員長 高瀬 宏滋
 副委員長 黒木 政純
 委員 土井 弘志・坂本 敏
 見藤 史朗



SASEBO WEEKLY

会長:長島 正 幹事:円田 浩司
事務所:佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会会場:佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 25 年 2 月 27 日

第 3,063 回例会

NO 32

《本日》会員数 75 名 (出席免除会員 25 名)・出席 53 名・免除者欠席 9 名・欠席 13 名・ビジター 0 名・出席率 70.67%

《前々回》会員数 75 名 (出席免除会員 25 名)・出席 58 名・免除者欠席 8 名・欠席 9 名・メイクアップ 9 名・修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 長島 正さん

皆さん今日は。早いもので、2月も明日で終わりです。暫くは寒い日もあるでしょうが、いよいよ本格的な春の訪れです。



先週の2月23日(土)、ホテルニューオータニ佐賀で開催された、佐賀RCの創立60周年記念式典に武井パストガバナー、円田幹事と出席してきました。2002年-2003年度、丁度10年前のRI会長 ビチャイ・ラタクル氏(タイ国)を招いての記念講演に始まり、記念式典、祝賀会と続きました。

「Future of Rotary～ロータリーの未来～」と題しての記念講演は大変素晴らしいものでした。今年で87歳になられるビチャイ・ラタクル元RI会長は、ユーモアを交えながら、笑顔で1時間立たれたまま熱心に講演をされました。

記念式典では、スポンサーRCである福岡RCと佐世保RCに感謝状と記念品の贈呈がありました。前の方に展示していますのでご覧ください。

祝賀会ではスポンサークラブの会長という名誉で、ビチャイ・ラタクル氏と同じメインテーブルに席が指定され、福元ガバナー、野口パストガバナーなどと、一緒にフルコースの豪華な食事を頂きました。しかし、緊

張していたのでしょう、大変疲れました。

さて今夜は、18:30よりホテルオークラJRハウステンボスにおきまして、第2740地区2013-2014年度 地区協議会の開催に向けた、第1回目の正副委員長会議を開きます。次年度の地区役員の皆様方のスタートにふさわしい会場の設営・運営などについて準備が始まります。

今期、最後の大きな対外的事業ですので、皆様方のご支援とご協力をお願いしまして挨拶といたします。有り難うございました。

例会記録

○ロータリーソング「四つのテスト」

○卓話者

亀山八幡宮

ねぎ 河原 忠徳 様

幹事報告

副幹事 平尾 幸一さん

1. 国際ロータリー日本事務局 経理室

2013年3月ロータリーレートは、
1ドル 92円(現行88円)です。

2. 第2740地区 2012-2013年度

ガバナー 福元 裕二さん
新世代統括委員長 増崎幸一郎さん
インターアクト地区委員長 中尾 嘉宏さん

地区大会「新世代の集い」

4月6日(土) 10:00~11:30に、福島の高校よりI.Aクラブの生徒さん2名が、第2530地区(福島)の伊藤 浩ガバナーと共に8名位で出席されますので、インタラクティブ委員長、提唱高校、校長先生、顧問教諭、IAC生徒へ地区大会出席のご依頼です。

- 高橋 理一・由美子さん ご夫妻 (7日)
- 福田 金治・尚子さん ご夫妻 (18日)
- 岡 英樹・節子さん ご夫妻 (25日)
- 遠田 公夫・光代さん ご夫妻 (27日)
- 佐藤 淳・成子さん ご夫妻 (27日)

3. 第5・第6グループ IM実行委員会

IMの交通手段についてお願い

会場がホテルのため、駐車場の準備が限られております。公共交通機関をご利用されるか会員の皆様で乗り合わせの上、ご来場いただきます様をお願い申し上げます。

4. ガバナー事務所

2740地区ホームページ更新(2月22日、25日)のお知らせ



委員会報告

■福田 金治さん

地区協議会正副委員会開催のご案内

本日18:30よりホテルオークラJRハウステンボスで行いますので、出席予定の方は宜しく申し上げます。30分間会議を行い、その後、懇親会を準備しております。



送迎バスは、17:45 石井ビル前出発です。

■財団奨学・米山委員会

委員長 長富 正博さん

(財)ロータリー米山記念奨学会へ、幸良秋夫さんよりご寄付いただきました。



慶 祝

親睦活動委員会 白田 浩一さん

○結婚記念月のお祝い

(2)

ニコニコボックス

親睦活動委員会 大久保利博さん

- 長島 正会長、平尾 幸一副幹事
- 森 信正さん、増本 一也さん
- 山縣 義道さん、梅村 良輔さん

亀山八幡宮 禰宜 河原 忠徳さんの卓話に期待して。

池田 豊さん

ロータリー財団大口寄付の認証式、ありがとうございました。

- 高橋 理一さん、福田 金治さん
- 岡 英樹さん、遠田 公夫さん
- 佐藤 淳さん

結婚記念月のお祝いありがとうございました。

◇

ニコニコボックス	本日合計	16,000 円
	累 計	619,000 円

歌の時間

指揮 井手 孝邦さん

「早春賦」合唱

卓 話

『日本の心～神宮と神社～』

亀山八幡宮 禰宜 河原 忠徳 様



神社は、日本人にとって見慣れた風景であり、季節のおりおりに参拝をします。11月になれば、七五三のお参りで神社に詣で、晴れ着を着た子供たちの姿で各地の神社が賑わいをみせ、正月には、大半の日本人が初詣に出かけ、神社へ足を運ぶことでしょう。皆、参拝をすると、鈴を鳴らし、拍手をうち祈願をします。また、おみくじを引いたり、お守りや破魔矢を受けたりします。受験を控えた学生ともなれば、絵馬に願いを託し奉納することでしょう。これらは、古くからの日本での光景であるのです。

極めて身近な神社であるにも拘わらず、その由来や何という神が祀られているかといったこと、神社の社名でも、稲荷社、天満宮、八幡宮など様々な社名があることなど、普段は、何ら不思議だとは思わない人が多いのです。

これらのことは、伝統に支えられて存在する物事が、あるのが当たり前で、なぜあるかには疑問を抱かれなくなっているからであります。とはいえ、日本には大小合わせて約8万社にのぼるお社があると言われ、それぞれの神社は、それぞれの由緒を持っています。遥かに古代から続く神社もあれば、中世の武士の援助によって成立した神社、近世になって成立した神社など、経緯を経て各神社は鎮座しています。

そのような歴史を少しでも知ると、一見ありきたりで、どこにでもある神社の風景が、急に興味深いものになってくるに違いありません。

人間がこの世に生存することに対する祖先への感謝、そして神の恵みといたわりの姿を受けとめていく中に、信仰の第一歩があるのだと考えます。

しかし、現代の若者にこれらのことをお

話し、理解して頂くのは難しい時代となりました。物質的には豊かになり、核家族に個人尊重の時代背景を認識している青年層とのギャップは、時を追うごとに大きくなりつつあります。顔と言葉は日本人であっても、戦後教育の中で成長した若者は、日本の大地を離れた風船のようなものになりつつあると思います。つまりは、日本の心の喪失につながっていきます。

過去に戻るのではなく、現時点より日本の心呼び起こすことが大事であると思います。

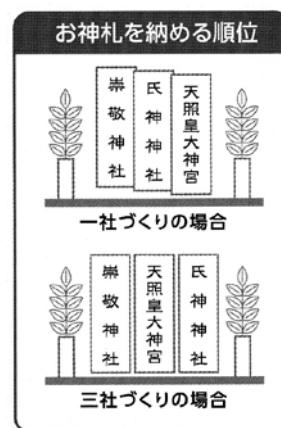
神のみこともちとして生きる私たちの役割は、日本の心を現代に、そして次世代に伝えていくことだと思います。

私たちの人生は、様々なめぐり合い、そして、出会いの連続です。その一つの出会いの場、心の広場として、神社があると思います。

神社にお参りして、少しでも豊かな心でお帰りになる。それが、日々の生活に結びついていくことでしょう。これこそが、古来より、神社の持っている大きな役割なのです。

また、本年は神宮の式年遷宮の年にあたります。この式年遷宮をきっかけに、国民がより多くの御神徳を授かり、今一度、神々や祖先への感謝の心、すなわち日本の心を取り戻す、思い返す良き機会となればと思っております。

お神札のまつり方



お伊勢さまと氏神さま、崇敬する神社のお神札をおまつりしましょう。神棚は居間など、家族が集まる家の中心に設け、南か東に向くようにおまつりします。神棚がない場合には、タンスや本棚の上をきれいに整えて、おまつりするようによいでしょう。